

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 9 月 28 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2011～2014

課題番号：23242037

研究課題名(和文)法令・人事から見た近世政策決定システムの研究

研究課題名(英文)The reserch of the political desidion system in Edo period

研究代表者

山本 博文(YAMAMOTO, Hirofumi)

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号：80158302

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 16,200,000円

研究成果の概要(和文)：織豊政権期については、豊臣秀吉の法令、および豊臣家奉行人の奉書等のデータベース化を進めた。朝廷との関係については、宮内庁編纂の『天皇皇族実録』のうち、御土御門天皇・後柏原天皇・後奈良天皇・正親町天皇の実録のデータベースを東京大学史料編纂所の「近世編年データベース」に格納した。江戸幕府の法令については、『御触書寛保集成』データベースを同じく「近世編年データベース」に格納した。

今年度は、本科研の最終年度であるため、研究報告書『法令・人事から見た近世政策決定システムの研究』(東京大学史料編纂所研究成果報告二〇一四一七)を刊行した。本報告書には、研究代表者と研究分担者の10本の論文が収録されている。

研究成果の概要(英文)：About the Shokuhojidai Administration period, I pushed forward the database compilation of orders of the laws and ordinances of Hideyoshi Toyotomi and Toyotomis prefect person.About the relations with the Imperial Court, the Emperor Tsuchimikado stored away a database of the authentic record of the Emperor Gokashiwabara / the Emperor Gonara / the Emperor Ogimachi for "the early modern times chronological order database" of the Tokyo University historical materials editing place among "Emperor royalty authentic record" of the Imperial Household Agency editing.About the laws and ordinances of the Edo Shogunate, it stored an "official notice Kanpo collection" database for "an early modern times chronological order database" in the same way.I published working papers "study (Tokyo University historical materials editing place results of research report 2014-7) of the early modern times policy decision system judging from laws and ordinances / personnel affairs" .

研究分野：日本近世史

キーワード：豊臣政権 江戸幕府法令 天皇皇族実録 御三家御城附 勘定奉行 長崎奉行 福岡藩

1. 研究開始当初の背景

研究代表者の山本博文は、平成 18～21 年度に科学研究費補助金・基盤研究(A)「江戸幕府・朝廷・諸藩の編年史・編纂史料集の史料学的研究」の研究代表者として、江戸幕府の編纂史料のデータベース化を行った。このデータベースをさらに拡充するとともに、このデータベースを活用することで、幕府の政策や人事についてより深い分析を行うことが求められていた。

2. 研究の目的

本研究では、近世の膨大な編纂編年史料を活用して、近世の政治に、一貫した「政策基調」があったのか、あったとすれば、それはどの部局が管轄していたのか、を検討する。これについては、人事のあり方が決定的に重要である。本研究では、豊臣政権期、江戸時代においては史料が豊富な幕政改革期と勘定奉行所、長崎奉行の人事を中心に人事決定のシステムに焦点を絞り究明していく。人事情報は、基本史料である『寛政重修諸家譜』の分析のほか、当該時期の幕臣らによる記録、風聞集など関連史料を渉猟し、幕府役職への登用の特殊事情をも明らかにし、当該時期に発布された法令で裏付けていく。また、江戸幕府人事の在り方と江戸時代諸藩の人事の在り方の比較も行い、幕府官僚制と呼ばれる組織の人事慣行とその特質を探っていく。

3. 研究の方法

幕府政治分析の基礎作業として、江戸幕府法令のデータベース化を行う。幕府自身が編纂した『御触書集成』のほか、明治政府の司法省が編纂した『徳川禁令考』を中心とし、『教令類纂』など江戸時代における私撰の法令集も参照しながら、統一的なデータベースとする。そして、それと並行して、法令の制定過程、法令発布のシステムなどを諸史料から究明する。また、法令を出す主体としての幕府役人については、寛政改革期を中心に考察することとし、幕府人事情報が詳細に書き込まれている『よしの冊子』の分析および索引作成を行う。また、役職では、勘定奉行、長崎奉行の人事を中心にデータベースを作成する。豊臣政権においては、豊臣秀吉朱印状から、法令に相当するものを抽出するとともに、奉行人事の変遷を分析する。藩については、尾張藩、福岡藩などを素材とし、法令や人事システムの比較を行う。

これまで幕府法令は、個々の研究課題にしたがって引用され、法令そのものの長期的な流れが分析されることは少なかった。これに対し、本研究では、幕府法令データベースを作成することによって、長期的な分析を行うことができるようにした。また、史料的条件から従来あまり検討されてこなかった幕府法令の制定過程、法令発布のシ

ステムに注目する。幕府法令の制定過程は、勘定所については『日本財政経済史料』にその一端が示されている。こうした個別部局と老中の関係については、『水野忠精日記』など老中の日記を探ることによって、検討している。また、近年、東京大学史料編纂所で購入した法制史学者石井良助氏**蒐集近世法令関係史料**は、幕府法令に好個の史料であり、学界に未紹介のものもあることから、分析を行って広く学界に紹介する。江戸幕府法令は、先行する政権である豊臣政権の法令との関係が重要であることから、**豊臣政権期の法令を抽出**し、比較検討を行う。豊臣政権の法令については、研究代表者の山本博文が『天下人の一級史料』(柏書房)で主なものを分析したが、その総合的な考察が課題となっている。

豊臣政権、江戸幕府の法令リストを作成するとともに、幕政全体の法令制定過程について総合的な分析を試みる。その際、法令分析にあたって幕府人事のあり方に留意することが、本研究での独創的な試みとなる。江戸幕府の組織は、高度に発達した官僚制という評価が定着しているように思うが、それは幕府役職の複雑さからの印象でなされている評価である。これまで幕臣全体の数量的な分析を行った研究は、在野の研究者である小川恭一の『徳川幕府の昇進制度 寛政十年末旗本昇進表』(岩田書院)しかない。個々の役職については、老中を中心とする幕府閣僚クラスの分析を行った美和信夫の『江戸幕府職制の基礎的研究』があるほか、寺社奉行については、小澤文子の『寺社奉行考』(児玉幸多編『幕府制度史の研究』吉川弘文館)目付については、近松鴻二の『目付の基礎的研究』(同前)、勘定吟味役については、馬場憲一「勘定奉行・勘定吟味役の昇進過程に関する一考察」(『法政史学』27号)などがある。しかし、これらの研究は、幕府人事に限った研究であって、そのような人事が幕政の動きに関与するかの考察はいまだなされていないように思われる。本研究では、その点にまで踏み込んだ分析を意図している。こうした視点からの研究として、研究代表者の山本は、『お殿様たちの出世』(新潮社)、『江戸の組織人』(新潮社)などで分析を行っているが、人事情報の考察に留まり、法令分析との連関が課題として残されている。本研究は、その点を究明することに主眼があり、本研究の最大の特徴とも言える。また、特に勘定奉行所は、幕府の一貫した政策決定に大きな役割を果たしたことが推測される。本研究では、勘定奉行とそれに関連する長崎奉行、佐渡奉行の人事などを総合的に分析することによって、幕府に長期的な政策決定システムが作動する要素があったかどうかを検討する。

4. 研究成果

織豊政権期については、織田信長文書、豊臣秀吉文書から、法令に相当するものを抽出し、データベース化を進め、研究協力者の曾根勇二（横浜市都市発展記念館職員）が「五奉行連署状」のリストと釈文を作成し、研究報告書に掲載した。朝廷との関係については、松澤克行（東京大学史料編纂所准教授）が行った宮内庁編纂の『天皇皇族実録』のうち、御土御門天皇・後柏原天皇・後奈良天皇・正親町天皇の実録のデータベースを東京大学史料編纂所の「近世編年データベース」に格納した。

江戸幕府下においては、幕府法令集である『御触書寛保集成』のデータベース化を完了し、『御触書寛保集成』データベースを同じく「近世編年データベース」に格納した。江戸幕府の人事情報については、前年度に作成した『寛政重修諸家譜』の索引データベースを完成した。

研究分担者は、それぞれの分担研究テーマに従って研究を進めた。堀新（共立女子大学教授）、佐島顕子（福岡女学院大学教授）は、2013年3月、研究代表者の山本博文が招聘されたカナダのプリティッシュコロンビア大学で開催されたワークショップ『戦争から見た近世の幕開けと社会変動：朝鮮と日本のあいだ』に同行し、それぞれ報告を行った。また、研究の成果はそれぞれ論文として発表しているが、2013年度には研究成果の一部を『偽りの秀吉像を打ち壊す』（柏書房）という書籍で刊行した。次いで堀新は、明智光秀の「家中軍法」を翻刻し、史料学的を行った。佐島顕子は、『李朝実録』のうち日本人が登場する記述を抜粋し、データベースを作成した。

江戸幕府の法令・人事については、各研究分担者が連携しあって研究を進めた。幕府法と藩法の関係については、福田千鶴（九州大学教授）が、福岡藩初期の法令伝達について研究し、論文を執筆した。福留真紀（長崎大学教授）は、田沼期の法令と人事の関係について、『兼山秘策』を分析し、「『兼山秘策』に見る幕府人事 勘定所を中心に」を執筆した。白根孝胤（徳川林政史研究所研究員）は、尾張藩御城附についての研究を執筆した。研究員の篠崎佑太は、東京大学史料編纂所所蔵の「石井良助所蔵史料」の整理を行い、目録作りと一部史料の翻刻を行った。また同じく研究員の堀智博は、山口県文書館所蔵『豊臣秀頼御上洛之次第』を分析し、史料翻刻を作成した。これらの研究成果は、『法令・人事から見た近世政策決定システムの研究』（東京大学史料編纂所研究成果報告2014-7）に掲載し、各方面に配布した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕(計12件)

堀新「明智光秀「家中軍法」をめぐる」『法令・人事から見た近世政策決定システムの研究』11～24頁 / 堀新「織田政権論」『岩波講座日本歴史』岩波書店、27～62頁、2014年 / 堀新「織豊期王権の成立と東アジア」『歴史評論』19～34頁 / 佐島顕子「『朝鮮王朝実録』収載日本人に見る豊臣政権」『法令・人事から見た近世政策決定システムの研究』79頁～108頁 / 福田千鶴「近世初期福岡藩の法令伝達」『法令・人事から見た近世政策決定システムの研究』209～24頁 / 福田千鶴「江戸幕府の成立と公儀」『岩波講座日本歴史』岩波書店、207～237頁、2014年 / 福田千鶴「豊臣秀吉発給こぼ宛書状について」『九州産業大学国際文化学部紀要』17～28頁、2012年 / 福留真紀「兼山秘策」にみる幕府人事 勘定所を中心に」『法令・人事から見た近世政策決定システムの研究』175頁～186頁 / 福留真紀「田沼意次郎の「中御勝手通」」『古文書研究』76巻、62～78頁、2013年 / 白根孝胤「幕府法令の伝達・情報収集と御三家御城附 尾張徳川家を中心に」『法令・人事から見た近世政策決定システムの研究』187頁～208頁 / 白根孝胤「名古屋城庭園の植栽空間と徳川斉朝」『徳川林政史研究所研究紀要』48巻、1～16頁、2013年 / 白根孝胤「尾張家年寄の官位叙任過程と公武関係」『尾張藩社会の総合研究』第5編、177～198頁

〔学会発表〕(計4件)

山本博文「豊臣政権と朝廷」UBCワークショップ『戦争から見た近世の幕開けと社会変動』2013年3月、プリティッシュコロンビア大学 / 堀新「豊臣秀吉と征夷大將軍職」UBCワークショップ『戦争から見た近世の幕開けと社会変動』2013年3月、プリティッシュコロンビア大学 / 佐島顕子「日本国王冊封と秀吉」UBCワークショップ『戦争から見た近世の幕開けと社会変動』2013年3月、プリティッシュコロンビア大学 / 福田千鶴「参勤交代における女性の旅」交通史学会、2012年5月、福岡市博物館

〔図書〕(計3件)

山本博文『歴史をつかむ技法』新潮社、2013年、255頁 / 山本博文『武士道の名著』中央公論社、2013年、208頁 / 山本博文・堀新・曾根勇二編『偽りの秀吉像を打ち壊す』柏書房、255頁

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：

国内外の別：

取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6．研究組織

(1)研究代表者

山本博文（YAMAMOTO Hirofumi）

東京大学・史料編纂所・教授

研究者番号：80158302

(2)研究分担者

堀新（HORI Shin）

共立女子大学・文芸学部・教授

研究者番号：80296524

福田千鶴（FUKUDA Chizuru）

九州大学・基幹研究院・教授

研究者番号：10260001

佐島顕子（SASHIMA Akiko）

福岡女学院大学・人文学部・教授

研究者番号：40225173

福留真紀（FUKUTOME Maki）

長崎大学・教育学部・教授

研究者番号：60549517

白根孝胤（SHIRANE Koin）

中京大学・文学部・准教授

研究者番号：60370178

松澤克行（MATSUZAWA Katsuyuki）

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：40282529

(3)連携研究者

（ ）

研究者番号：